

広報ひがしの

No162

令和元年

2019.8.1

人口1701人

(男) 853人

(女) 848人

世帯数

633世帯

(R1.7.1現在)

地域をつなぐ『ほたる祭り』

第19回東野ほたる祭り大いに賑わう！



小坂市長のあいさつ



日中、雨が降り、開催が心配されたほたる祭りでしたが、無事開催することができました。マイクが入らないトラブルがありました。が、東野小学校のみなさんは、臨機応変な対応で開会式を進めてくれました。地元児童による司会は、とても好評でした。



大活躍してくれた中学生ボランティア



スタッフ総出で会場の設営

東野開発振興会

今回も飲み物の販売に携わっていただきました。今年はとても蒸し暑かったため、ラムネがたくさん売れました。代金を受け取り、おつりを渡すのも大変でした。



東雲連合会

子ども達が毎回楽しみにしているおもちゃの販売をしていただきました。楽しそうに子どもたちと触れ合っていました。



中学生ボランティアが大活躍



ボランティアに毎年参加してくれる中学生もいます。ほたる学習コーナーと壁掛け作成コーナーを担当してくれました。小学生やこども園の子に分かりやすく説明をしてくれました。

さすが東野出身の中学生という声を何度も聞きました。

すてきな作品が届きました 6月14日(金)

ほたる祭り会場で来場者が写真の背景にしていた作品を東野こども園の皆さんが届けてくれました。今年も素敵な作品を作ってくれてありがとう。



地域をつなぐほたる祭り

交通安全協会東野支部のみなさん

みなさんがほたる祭りを楽しんでいる頃、交通安全協会の皆さんは、コミュニティセンターから宗久寺までの区間を、車の進入を止めたり歩行者に注意喚起をしたりしていただきました。交通安全協会の皆さんは、会場にはいないために、活躍を目にすることがありませんが、

皆さんが安心してほたる祭りを楽しめるように気を配っていただきました。

ほたる祭りだけでなく、夏祭りでも車の誘導や進入を防いでいただいています。感謝です。



東野青少年育成推進員のみなさん



今年は上組の青少年育成推進員さんが、水風船つりと駄菓子販売を担当していただきました。慎重につり上げようとしますが、途中でプチッと切れて悲しそうな顔になる子どももいました。

小銭を握って、駄菓子売り場に走り寄る子ども達。駄菓子を真剣に選ぶ子ども達でした。

今年のほたる祭り



大勢のお客さんで賑わいました

今年も70名の東野地区の幼児、小学生がほたるクイズを解答してくれました。東野以外から20名、他市から10名、合計30名の子ども達も解答してくれました。保護者、中学生、地域の方々や関係者の総計400名以上の参加者があったほたる祭りでした。

いつまでもほたるが飛び交い、多くのお客様で賑わう、ほたる祭りであってほしいと願っています。

平成13年6月10日撮影

令和元年6月4日撮影

この写真は、ほたる祭りの看板の制作と設置の様子です。左の写真は、ほたる祭りが始まった18年前の様子です。ほたる祭りの成功に向け、立派な看板を作っていました。その看板は、コミセンで保管し、ほたる祭りが近づく6月になると、毎年、東雲連合会の皆さんが設置して下さっています。

今年も6月4日(火)、炎天下の下、汗を流して設置して下さいました。永年にわたりほたる祭りを支えていただき、ありがとうございます。

防災士とは

社会の様々な場で減災や社会の防災力向上のための活動が期待され、そのために十分な意識・知識・技能をもつとして、日本防災士機構が認定した人たちです。



防災士の資格を取得しませんか？

1995年の阪神・淡路大震災の教訓をふまえて、予測不可能な被害に対し、正しい知識と適切な判断力を兼ね備えた人材を育てるために、防災士制度ができました。

2003年から現在までに日本全国に100,000名を超す防災士が誕生し、防災リーダーとして活動しています。

大震災などの災害の発生を防ぐことはできませんが、災害に対する十分な知識と万が一発生した場合の対応知識を備えることで、私たちの生命や財産に対する損害を大幅に軽減させることが可能です。

今後発生するおそれのある首都直下地震や南海トラフ巨大地震、気象災害に備えて、減災と防災力の向上を目指し活動する防災士は、これからの日本に欠かせない存在となります。昨年度は市内で4名の中学生が防災士の資格を取得しました。

恵那市では毎年、「恵那市防災アカデミー」受講生を募集しています。あなたもぜひ受講し、防災士の資格取得にチャレンジしてください。

防災士試験にチャレンジ

試験は3択式で30問出題され、70%以上の正答で合格となります。

※この練習問題は、防災情報機構NPO法人の防災情報新聞より抜粋したものです。日本防災士機構が実施している試験の過去問題ではありませんのでご了解ください。

* 防災アカデミーで使う、防災士教本に書かれ、講義で何度も話された内容です。

【問題の一例】

問題 阪神・淡路大震災は近代都市の直下で起きた地震であった。その人的被害に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1)犠牲者の死因は、火災によるもの、建物倒壊によるもの、液状化によるもの、土砂災害によるもの等、さまざまであったが、このうち犠牲者が最も多かったのは土砂災害によるものであった。
- (2)犠牲者が最も多かったのは、火災によるものであった。
- (3)犠牲者の8割以上は、住宅の倒壊による圧死、窒息死であった。

【解答と解説】

問題1 (1)× (2)× (3)正解

犠牲者の大半は倒壊した自宅で重量物の下敷きになって呼吸できなくなって亡くなった。

ゲリラ豪雨とは？

昨年は各地でゲリラ豪雨という言葉をよく耳にしました。東野でも突発的な雨に降られ、コミセンに駆け込む方もいらっしゃいました。こうしたゲリラ豪雨は、予測が困難で突発的で範囲が狭い豪雨を指します。

この言葉を使用するのは日本国内のみです。明確な定義はなく、日本の気象庁は予報用語として「ゲリラ豪雨」を用いていません。

集中豪雨の中でも、特に予測が困難な場合を「ゲリラ豪雨」というのが本来の使い方ですが、予測可能だったときにもゲリラ豪雨と言っ方がインパクトがあるのでテレビは使うようです。

ゲリラ豪雨の兆候は？

予想が難しいゲリラ豪雨にも予兆があります。

夏は、太陽によって地面が熱せられ積乱雲が発生します。これらによって、激しい上昇気流が発生し、やがて下降気流が強まり、強い雨とともに風が吹き下ろすようになります。その氷の粒が溶けきらずに地面に到達した場合、あられや雹(ひょう)になります。雨が降っているところでは、積乱雲から吹き下ろされた冷たい下降気流が吹き降りてくるため、「すーっと」涼しくなってくるのです。ゲリラ豪雨が発生すると、急に汗がひくこともあります。

薄暗くなってきた、「涼しくなってきたら」、それはゲリラ豪雨が近づいているサインかもしれません。予測が難しいのは、積乱雲の成長は20分とかからないほど、急速に発達するからです。セミの鳴き声やや

んだり、ラジオにノイズが入ったりしたら「もしかして」と思いましょう。怖がるだけでなく、正しく知り、適切に行動することが自分の命を守る方法です。



地域の話題

第一回 東野ふれあいウォーク

6月1日(土) 東野三学委員会主催

天候に恵まれた土曜日の午前中、東野の皆さんとふれあいウォークを楽しみました。

小学生や保護者、東野小の後藤校長先生、地域の皆さんと総勢14名でコミセンを出発。今回は、『東野散策マップ』のCコース(向島コース)を中心に歩きました。

阿弥陀堂を経て、ふれんどりーで五平餅に舌鼓を

打ちました。阿弥陀堂からの長い上り階段に一同ヘトヘト。疲れ切った後だけに、五平餅は最高のごちそうでした。向島から西行の

竹林庵跡を目指し、再び山登り。息を切らせながら全員無事到着。心地よい疲れと充実感を感じながらコミセンで解散しました。



みなさんお疲れ様でした(竹林庵跡にて)

来年度もコースを変えて実施したいと思えます。コースは初級者向き、中級者向き等いくつかあります。次年度の開催を楽しみにしてください。



東野小学校で田植え 5月20日(月)

4年生・5年生がJAバンク食農教育応援事業の一環として、田植えの学習をしました。

東野開発振興会の丸山文憲さんを講師に迎え田植えの体験をしました。

子どもたちは、「田植えをした。線を引いて稲を植えた。楽しかったし、おいしくできるといい。とっても楽しんだ。」「私は田植えをやった。昔の人の田植えの苦労がわかった。またやってみたいと思ったし、楽しかった。」



「田植え体験で、5年生もい体験になったし、来年、今の4年生が5年生になって、次の4年生になる子いい手本になってくれたらいいなと思った。」と感想を発表しました。この後、4・5年生は稲作の授業として、稲刈り、脱穀、収穫した米を使い五平餅や豚汁を作り、お世話になった皆さんと収穫祭を行う予定です。



今年度は4・5年生以外にもJAバンク食農教育応援事業として、2年生のさつまいも作り、3年生の大豆作りの実施が予定されています。

JAバンク食農教育応援事業は、JAバンクによる食農教育を中心とする教育実践活動を通じて、子どもの農業に対する理解をはかり、農業ファンの拡大、および地域の発展に貢献することを目的として、平成20年度から実施している事業です。

東野公務員OB会で草刈作業実施

東野公務員OB会では、年3回、えな斎苑下の桜植樹の草刈を行っています。今年は24名の会員によって6月14日(金)に行われました。天候に恵まれ、午前中に作業が終了。えな斎苑に通じる道路の側面は急傾斜で、滑り落ちないように踏ん張って行う作業は大変でした。



草刈作業によって、植樹された桜には気持ちのよい風が吹いていました。



ふれあいキッサ虹でミニコンサート

6月13日(木)のキッサ虹でギターとマンドリンのミニコンサートが行われました。

ギターは北中切の水野泰正さん、マンドリンは、山岡在住の内龍二さんが担当です。



満員のお客さんは、二人の息の合った曲に魅せられ、静かに聴き入っていました。禁じられた遊び、夏はきぬ、ふるさと等、誰もが知っている名曲を演奏して頂きました。

演奏と一緒に歌うお客さんもいて、心温まる一時でした。

コミセンでは第2木曜日と第4金曜日の月2回、午前10時30分からキッサ虹を開催しています。今後も、ミニコンサート等のアトラクションを企画しています。地域住民同士のおしゃべりを楽しみに参加される方もいらつしやいます。お気軽にご来館下さい。



地域の話題

小さなお客様 6月18日(火)

下浜井場の伊藤淑子さんを講師に、こども園のみどり組さんがコミセンでお茶の勉強をしました。事務室で「お茶の勉強に来ました。よろしくお願いします。」と上手なあいさつが出来ました。

和室で、

きちんと正座をし、扇子を前に置き、伊藤先生にご挨拶。扇子の置き方に戸惑ったり立つときに緊張したりしました。

しかし、帰る頃には、茶の所作を身に付け、自然に動けるようになり、満足そうな顔でこども園に帰りました。



お客様と一緒に楽しいひととき ふれあいキッサ虹で

6月28日(金)にこども園の園児がふれあいキッサ虹にやってきました。キッサ虹のお客様の前で、『世界中の子どもたち』を歌ったり『動物の手遊び』を披露したりしました。

最後に童謡『海』を歌いながらお客様と一緒に手遊びをしました。初めは照れくさそうにもじもじしていた子ども達でした。しかし、しばらくすると緊張も緩み、にこにこしながらお客様と手遊びをしました。相手をしながらお客様もにこにこでした。



♪海は広いな 大きいな～

東雲会花壇植栽作業 6月22日(土)

東雲会の皆さんが東野地内3ヶ所の花壇の花苗を植えてくださいました。

強い日差しが差し込んだり小雨が降ったりと、不安定な天気でしたが、会員同士で楽しく会話をしながら作業を行い、11時頃には美しい花壇になりました。

今回は、配色と草丈を工夫し、

後列にマリー

ゴールドとニチ

ニチソウ、前列にポーチュラカを植

え、彩り豊かな花壇になりました。

信号待ちの運転手や通行する人の

目を楽しませてくれていきます。毎

年、年2回の作業、ありがとうございます。



文芸

花無山句会 令和元年6月27日 コミュニティセンター

市川芳子

粽^{ちまき}売る老舗ののれんくぐりけり
裏木曾の急流眼下に鮎^{あゆ}の宿

内木伊都子

小包を広げる縁の端居かな
とりどりの紫陽花の色傘の色

千藤猛司

鳴き声にいやされ小路ほととぎす
茅花の穂揃いて咲けば亦美々^{みみ}し

千藤恵三

梅漬けて令和元年印しけり
玄関の壺はなにがし花あやめ

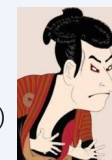
8月の予定

- 8月 7日(水) 東野青少年育成会議
市内安全パトロール(恵那駅からピアゴ)
2日(金)・9日(金) 東野青少年育成会議
東野地内安全パトロール(川や危険箇所)
6日(火) 夏休みこども教室(学習)午後
8日(木) 夏休みこども教室(木工)午後
13日(火) 22日(木) 夏休みこども教室 午前
10日(土) 第38回納涼夏祭り
11日(日) 地域環境美化活動
*夏休み子ども教室 午前10:00~13:00 午後13:00~15:00
8月21日(水) 青少年育成会議主催 夏休み社会見学(小中学生と保護者)
8月31日(土) 秋の道づくり作業(自治会毎)



9月・10月・11月の予定

- 9月 1日(日) 市防災訓練(地域毎)
上旬 自治会長会議
16日(月・祝) 敬老会
22日(日) みのりのみのりまつり
「ふるさとじまん」出店 上組自治会長担当
10月 20日(日) 東野住民ふれあい体育祭
27日(日) 東野歌舞伎公演
11月 2日(土) 文化祭準備
3日(日・祝)~4日(月・振替休日)
文化祭(作品展)
3日(日) 東野ふれあい音楽祭



社会福祉協議会東野支部 食事サービス事業

アヤマ会



アヤマ会は、65歳以上で、ひとり暮らしの方を対象に、東野コミュニティセンターで、ボランティアの方や参加者同士でおしゃべりを楽しみながら料理を作り、食事をしていきます。

看護師さんの血圧測定と健康相談も行っています。毎回10人程の方が参加されています。ご自宅からの送迎も行っています。

いつからでもご参加いただけますので東野振興事務所までお問い合わせ下さい。



参加費・・・1回 100円
日時・・・毎月第1金曜日10時から14時

ふれあい弁当



ふれあい弁当は、高齢者世帯の方の不足しがちな栄養素を補って頂けるように、ボランティア「結いの会」のみなさんが、季節の食材を使ったお弁当を作ってお届けしています。毎回30食程をお作りしています。

ふれあい弁当で日頃とは違った

お食事を味わって頂きたいと思えます。

ただし、8月のお弁当は食中毒予防のためお

休みします。

お申し込みは振興事務所までお問い合わせ下さい。



一食・・・200円
日時・・・毎月第3金曜日12時から12時30分

お問い合わせ 東野振興事務所 ☎ 26-2244

地域を知る・東野を知る

こんな所にお社（やしろ）が

このお社は、東野にいればどこからでも見える、標高813メートルの秋葉山の山頂にあります。こんな山の中に似つかわしくない立派な石灯籠と小さな祠がご神木の間から見えます。



だれがいつ頃こんな山中にお社を建てたのでしょ

う？この秋葉神社については、恵那市内の石仏、石灯籠を網羅している恵那市史-石仏と道しるべにも掲載されていません。そのため、ここを管理している鷲尾神社の氏子と生産森林組合の役員以外はほとんど訪れたことがないようです。



火の神とされる火之迦具土大神（ひのかぐつちのおおかみ）を祀るのが秋葉神社です。静岡県浜松市の山中の秋葉山の秋葉山本宮秋葉（あきは）神社が本山です。山に囲まれる東野では昔から火災を恐れ、本山まで行き、参拝していました。しかし、遠くて誰でも行けるわけではありませんでした。

延享3年（1746年）、宗久寺の第5世紹天和尚は静岡県の本宮秋葉神社の御神体を迎え、東野全体を見渡せる標高813メートルの山頂に神社を建て、秋葉神社としました。村民は静岡まで行かなくても、この神社に参拝することにより、火災が起きないように祈願することができるようになりました。以降、この山を秋葉山と呼ぶようになったそうです。御神体はカラス天狗（秋葉権現）と伝わっていますが、特徴である大きな翼は破損しているとのこと。

神社内の棟札の延享のものは朽ちてなくなっていたため、弘化2年（1846年）宗久寺11世秀暁和尚により、棟札を改めたと記されているとあります。山の中のお社のため、単独での登頂は危険です。興味のある方は、登山道を知っている人と一緒に、熊鈴を身に付けて訪れてください。

ふもとの地蔵平から50分ほどかけて登ると、突如大きな石灯籠が目飛び込んできます。大きく重い石灯籠をここまで上げた先人の信仰心に感激します。

令和元年度前期恵那市民大学『恵那三学塾』市民講座 紹介

恵那市は、生涯学び続けることの大切さを説いた郷土の先人、佐藤一斎先生の「三学の精神」を理念として、市民みんなで取り組む生涯学習「市民三学運動」を実践しています。

生涯学習には「自分づくり」と「地域づくり」の2つの目的があります。学んでは生かし、生かしては学ぶ「知の循環」を目指すのが恵那三学塾です。「知の循環」のために市民講座を開講しています。前期は、東野コミセンでは6つの市民講座が開かれています。

恵那の家庭料理を作る

講師 伊藤 真理

料理を楽しみながら、地域の食文化や栄養と健康などについて学んでいます。男性、お子様連れも参加されています。

今年は10名の講座生が和気あいあいと料理を作っています。第1回目は、たけのこご飯、ささ身のゆかり風味、切り干し大根とひじきのごま酢和え、草餅を作りました。得意料理がどんどん増えていきます。



赤尾先生の楽しいウォーキング&トーク

講師 赤尾 袈夫

コミセンから往復2時間程度のコースを歩きます。

地蔵平や竹林庵跡など、東野の史跡や自然豊かな地を散策しています。右の写真は、竹林庵跡を訪れたときの記念写真です。赤尾先生の軽妙なトークを楽しみに参加する講座生もいます。

楽しくお話ししながらウォーキングを楽しんでいます。



さあ うたいましょう

講師 林 精子

童謡からフォークソングまでジャンルに関係なく、お腹の底から声を出して、いきいきと歌っています。男性も大きな口を開けて、楽しそうに歌っています。1階まで、さわやかな歌声が聞こえてきます。歌を通じて、仲間がどんどん増えていくようです。

講座が終わった後は、充実感でいっぱい、笑顔いっぱいの顔で帰路に就きます。



楽々囲碁

講師 西尾 宏見

初心者から有段者までどなたでも歓迎しています。自分の実力に合った打ち方ができます。

囲碁への興味を誘いながら技を楽しめる囲碁講座です。受講生はピンと張り詰めた空気の中、集中して取り組んでいます。

数手先を読みながら最善手を考えて対局したり交流したりしています。



楽しい親子ヨガ

講師 横光 亜由美

皆さん、お子さん連れで参加しています。子育てに必要な体力・知恵・忍耐を鍛えることができます。

小さいお子さんもお母さんとの触れ合いを通して貴重な時間を過ごすことができます。

小さなお子さんが室内でボール等のおもちゃを使って楽しそうに遊ぶ姿が印象的です。



THE SLOWプレスウォーク&はじめてのバレトン

講師 有我 万美子

プレスウォークで、姿勢や歩き方を整え、バレエ、ヨガ、フィットネス、それぞれの要素を含んだ一連の動作を、流れるようにつなぎあわせて動き続ける有酸素運動です。3つの要素が入ったバレトンで脂肪燃焼して健康美を追求しています。講座生からも「初めての体験だったけど、リラックス出来た。」という声が聞かれました。



東野コミュニティセンターで開講されている市民講座を紹介しました。後期も内容を吟味し広く募集しますので、ぜひご受講下さい。また、「地域の課題を解決に導くためにすべきこと」のような先進的なまちづくり活動実践例や手法を学ぶために、三学のまち講座 一聴いて学んで生きる講座 も開講されています。

後期も三学のまち講座が開講されます。詳細については、恵那市民ガイドブックをご覧ください。

乳幼児学級（すくすくクラブ）とは
『乳幼児期の家庭教育学級』のことで、0〜3歳までのお子さんをもつご家族の活動です。途中からの参加も可能ですので、ぜひコミュニティセンターへご連絡ください！（乳幼児学級担当 三七）



6月27日
「書を楽しむ」
ママさん
がんばってます！



乳幼児学級
すくすくクラブ



「コミュニティセンターから
お願い・お知らせ」

▼施設利用について

施設利用される方は、「使用許可申請書」での申請が必要となります。3ヶ月前から申請可能となります。

また電話でのお問い合わせは仮申し込みとなります。必ず窓口にて「使用許可申請書」に記入して頂くようお願いいたします。



▼市民講座について

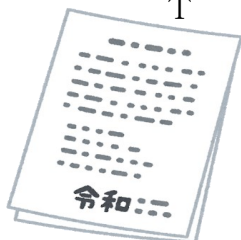
10月より後期市民講座が始まります。

子どもからお年寄りまで学ぶことができます。新しい講座を予定しております。ぜひご参加ください。詳しくは9月に発行される「恵那市民大学ガイドブック」をご参照ください。

市役所、文化センター、市内各コミュニティセンターなどで配布されます。

▼東野コミュニティセンター開催予定講座

- ・恵那の家庭料理を作る
- ・楽しいママヨガ
- ・さあうたいましょう
- ・赤尾先生の楽しいW&T
- ・はじめてのバレトン
- ・楽々囲碁
- ・恵那マジッククラブ



編集後記

▼大雨の時期になりました。毎年この時期になると『〇〇警報』『避難勧告』『避難指示』等、さまざまな情報が発表されます。しかし、去年7月の西日本豪雨では、さまざまな情報が住民の避難行動に必ずしも結びつかず、死者・行方不明者あわせて273人を出す平成最悪の豪雨災害となりました。▼「災害に関する情報が分かりにくい」との指摘を受け、政府は、大雨による災害が発生する危険度と住民に求められる行動を、5段階のレベルで示す「大雨警戒レベル」の導入を決めました。これを受け、気象庁は5月29日から「大雨警戒レベル」の運用を始めました。気象庁では、「警戒レベル4までに、全ての対応（避難）を完了させていただきたい」と話しています。▼レベル1が最新情報に注意、レベル2は避難方法を確認する、レベル3は避難準備情報が出され、高齢者や体の不自由な人が避難を始める段階。レベル4は自治体から避難指示や避難勧告が出され、高齢者だけでなく対象地域の全員が避難する段階です。土砂災害警戒情報や氾濫危険情報がレベル4にあたります。警戒レベルが最も高い5は「災害発生」です。大雨特別警報や川の氾濫発生情報が発表される状況です。▼気象庁が強く訴えているのは、「レベル5を待たない」ことです。レベル5になってから避難を始めては手遅れになる危険性があります。レベル5を待たず、レベル4の避難の情報が出たら全員避難してください。『レベル4が発表されたら、すぐ避難』を合い言葉にしてください。▼テレビなどで災害の情報を把握し、近くの山や川の状態を把握し、自分の命を守りきる行動をとることが大切だと思います。（杉）

発行

東野コミュニティセンター ☎二六―二五五五
東野地域自治区運営委員会 ☎二六―二二四四